

moshi 1998 Vol.5 moshi

お医者さんと上手にコミュニケーションしましょ

特集：便に血が混じる子



血が混じったわが子のうんち……。見たときはドキッとしますね。
「ガン？それともポリ・プ？」と頭の中は悪い想像でいっぱい。電話
相談ではどちらかというと、生まれて間もない子にこの血便の心配が
多いようです。しかも、母乳栄養の子に多いのが特徴です。

带状疱疹

水ぼうそうのウイルスでかかる病
気。水ぼうそうにいちどかかると、
治ったあとでもこのウイルスは一生
神経節に潜み、体調が落ちたときに
出てくる。神経節に沿って帯のよう
に発疹がでることからこの名前があ
り、たいへん痛い。年配の人に多く
みられる病気だが、若い患者もいる。

带状疱疹の場合、唾液や血液にウ
イルスが増えないことから、発疹の
ある部位をさわらないかぎりうつら
ないといわれているが、外来では同
居の年寄りの带状疱疹からウイルス
が感染し、赤ちゃんが水ぼうそうに
なったと思われる例はかなりある。



カンピロバクター

カンピロバクター - は食中毒を起こ
す細菌のひとつで、子供の細菌性の
腸炎の10～20%はこの菌が原因。
検出方法が普及したこともあって、
いまではサルモネラ菌を上回る腸炎
の原因菌となっている。

感染源は汚染された食肉や汚染さ
れた水。日本の場合は鶏の保菌率が高
く、鶏肉を調理したまな板や包丁
が感染源になることがよくある。

症状は下痢、腹痛、ときに発熱。
40%の人に血便がみられるので
「O157ではないか！」と親をあわて
させがちだが、この場合は治療によ
り簡単に治癒する場合がほとんど。

この小冊子の内容は「医師による発育・発達・病気の電話相談」からの
内容を抜粋したものです。

03-3219-0797 毎週水曜日 14時～17時に受けつけています

監修

横田俊一郎先生（横田小児科医院院長）

構成 / 泉美智子 イラスト・レイアウト / いとうやすこ

便に血が混じっている

3か月の下の子ども
4才8か月の上の子ども便に血。
下の子はポリ・プとか。
上の子は様子みているけど
大腸ガンかと不安...

— 3か月のウくんと4才8か月のKくんの
ママとの電話相談から —



— いま3か月の下の子は生後1か月すぎから便にスンのような血がところどころにずっと混じっています。外科にまわされたのですが、その先生から若年性のポリプの可能性があるので腸注検査をしたほうがよいといわれて……。

先生 ● 若年性のポリプという可能性は低いでしょう。母乳だけでは、最初から母乳だけです。

先生 ● 母乳だけの子の便に血が混じるのはそう珍しいことではないんですが……。

— 母乳の子に多いことについてはこのように……。

先生 ● いちばん多いのはリンパ濾胞増殖症によるものです。大腸の粘膜の内側にリンパ濾胞ができるための出血なのですが……。

— こわい病気なんですかそれは？

先生 ● 病気ではありません。母乳だけの赤ちゃんはリンパ濾胞が発達していてそれがグリグリになっているのです。そのために便が出るときにこれをこすって出血するだけのことで、一時的なものと考えるのです。

— 病気ではなく一時的なものというのではこのまま様子をみてよいということですか。でもほんとにそうなのか少し心配が残りますが……。

先生 ● 直腸鏡で見ればはっきりとわかりますよ。

— 何科に行けばみてもらえますか。

先生 ● 大きい病院の小児外科ならまずみてくれます。しかし、4〜5か月になるとおさまることが多いので、赤ちゃんが元気ならあと1か月くらい様子をみたらどうですか。

— 元気でよくふていますからそれならあと1か月くらい待てみます。ところで、実は4才8か月の上の子どもこのころ血便が出ていて、先生は様子みているといわれるのですが、大腸ガンということはないですか。

先生 ● 4才の子に大腸ガンはまずありません。まずそのような報告はないですが、あたたとしても日本で例という程度でしょう。こんな場合、痔が考えられるのですが、便が出る

— とき痛がりませんか。

先生 ● そうだとすると、まず考えられるのが痔ですね。あとは急性や慢性の大腸炎、クローン病や潰瘍性大腸炎なども考えられますが、これも大腸鏡や大腸ファイバーでははっきりしますので、血便が続くようならいちど小児外科で相談されたらどうでしょうか。



先生 ● そうだとすると、まず考えられるのが痔ですね。あとは急性や慢性の大腸炎、クローン病や潰瘍性大腸炎なども考えられますが、これも大腸鏡や大腸ファイバーでははっきりしますので、血便が続くようならいちど小児外科で相談されたらどうでしょうか。

11才、9才、3才の3人とも小さいのです

Q 長女は11才11か月で139cm。次女は9才1か月で116.7cm。いちばん下の3才7か月の男の子は92cmしかありません。父親が160cm、母親が150cmですが、検査は受けたほうがよいでしょうか。長女はすでに生理が始まっていますが、これで身長は止まりですか。

A 身長は生理がきたからすぐ止まるということはありませんが、上のおおさんは身長のわりに生理が早いので最終身長が150cmに達するのはわりと思われれます。下の男の子さんは多少小さめですが、これは体質的なもの。今後もずっと身長を表につけてみて急激に下がったらみてもらう程度でよいでしょう。

問題真ん中の9才のお嬢さん。年齢は9才なのに、身長は6〜7才程度で3年ほどの遅れがあり、-2SDを下回っているの、いちど骨のレントゲンや血液検査を受けることがお勧めです。お姉さんに似て身長のわりに思春期が早い可能性もあり、すでに9才すぎていますので、早く専門病院で検査を受けてください。

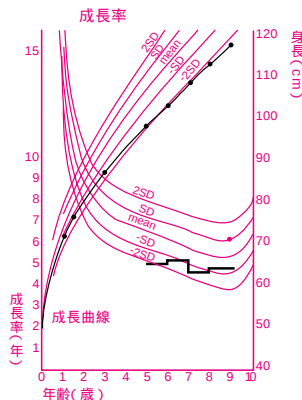
最初は外来の検査だけですみます。その後必要なときは入院検査となります。



ケース1
低身長

ケース2
まだ歩かない

発育



1才4か月で歩けないし、
ひとりで立とうともしない



Q テ・ブルにつかまらせば立つのですが、ひとりでは立てませんし、歩く気配はまるでありません。首すわりは3か月。おすわりができたのは7か月でした。そういえば小さいときから膝に抱いても足をピョンピョンしない子でした。いまはハイハイで体を動かしますが、これもすわったまま。言葉は上の子より早いのに、総合病院で発達が遅れているから脳波やCTをとるといわれましたが、親としてはそこまでする必要があるのか、抵抗があります。

A すわったままはうとか、膝に抱いたとき足をピョンピョンしない子はいざりっ子(シャッフリング)というタイプで病気ではないのです。こういうタイプの子の特徴は立つまでの発達は順調なこと。筋肉が弱いとか、体が突っ張るなどということがないがぎり待っていてよいのですが……。

シャッフリングというのは体質のようなもので、何百人にひとりくらいはいるものです。心配ならもう1軒別の小児科で相談してみたらどうですか。